

2025年度版・マイルストーンと科目の対応表-1

領域	卒業時アウトカム	レベルA アウトカム 基礎臨床医学終了(リサーチクラークシップ開始前)までに到達すべきアウトカム	レベルB アウトカム リサーチクラークシップ～臨床実習開始前(クリニカルエッセンシャルズ・プレ実習)までに到達	レベルC 臨床実習～卒業判定までに到達	
領域I 科学者としての医師	Ia	ヒトの正常な構造、機能、行動および疾病の病態・病性を理解し、医学の発展に貢献することができる。	物質と代謝ユニット、分子と細胞ユニット、医師になる道1-2 患者中心の医療とプロフェッショナルナリズム、肉眼解剖学ユニット/組織学・発生学・神経解剖学ユニット、植物の機能系/動物の機能系ユニット、医師になる道2-1 統合科目1、医動物学、細菌学ユニット、ウイルス学、免疫学、病態病理・臨床病理学ユニット、薬理学ユニット、医師になる道3-1 統合科目2、法医学ユニット、先端医学ユニット、遺伝医学と倫理	リサーチクラークシップ(基礎自主研修)、循環器系ユニット、産科科学・集中治療医学ユニット、呼吸器系ユニット、腎臓内科、臨床診断推論、神経学系ユニット(泌尿器科)、耳鼻咽喉科・口腔ユニット、成長と発達/発生、精神系ユニット、消化器系・内視鏡ユニット、神経系ユニット(神経内科学)、神経系ユニット(脳神経外科)、運動器系/リハビリテーションユニット、漢方医学ユニット、眼・視覚系ユニット、血液・造血系/リンパ系ユニット、生殖機能ユニット(産科)、生殖機能ユニット、内分泌・栄養・代謝系ユニット、経皮治療ユニット、放射線等を用いる診断と治療ユニット、臨床腫瘍学ユニット、疼痛医学ユニット、膠原病学ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2、法医学診断学ユニット
	Ib	臨床データや文献等の情報を吟味し、その妥当性や適用の有無を決定することができる。	医学情報学、学術論文入門ユニット、医動物学、ウイルス学、Scientific Writing and Presentation	リサーチクラークシップ(基礎自主研修)、循環器系ユニット、腎臓内科、臨床診断推論、成長と発達/発生、神経系ユニット(脳神経外科)、社会医学基礎(公衆衛生学コース)、社会医学実習、血液・造血系/リンパ系ユニット、内分泌・栄養・代謝系ユニット、乳腺学ユニット、臨床腫瘍学ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2、社会医学応用(公衆衛生学)
	Ic	重要な医学的知見や医療情報を、さまざまな立場の人に対し適切に説明、発表することができる。	物質と代謝ユニット、肉眼解剖学ユニット/組織学・発生学・神経解剖学ユニット、肉眼解剖学ユニット/組織学・発生学・神経解剖学ユニット、植物の機能系/動物の機能系ユニット、学術論文入門ユニット、医動物学、ウイルス学、免疫学、Scientific Writing and Presentation	リサーチクラークシップ(基礎自主研修)、循環器系ユニット、救急科ユニット、運動器系/リハビリテーションユニット、眼・視覚系ユニット、血液・造血系/リンパ系ユニット、内分泌・栄養・代謝系ユニット、乳腺学ユニット、放射線等を用いる診断と治療ユニット、臨床腫瘍学ユニット、疼痛医学ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2
	Id	科学的知識や科学的理解の限界を認識し、全ての科学的知見は常に更新される性質のものであることを理解できる。	物質と代謝ユニット、分子と細胞ユニット、医学情報学、医師になる道1-1: 医師の職業と社会的役割、医師になる道1-2 患者中心の医療とプロフェッショナルナリズム、肉眼解剖学ユニット/組織学・発生学・神経解剖学ユニット、植物の機能系/動物の機能系ユニット、学術論文入門ユニット、医師になる道2-1 統合科目1、医師になる道2-2 「行動科学とEBMの基礎」、医動物学、ウイルス学、病態病理・臨床病理学ユニット、薬理学ユニット、医師になる道3-1 統合科目2、法医学ユニット、Scientific Writing and Presentation、先端医学ユニット、遺伝医学と倫理	リサーチクラークシップ(基礎自主研修)、循環器系ユニット、産科科学・集中治療医学ユニット、成長と発達/発生、神経系ユニット(脳神経外科)、社会医学実習、眼・視覚系ユニット、内分泌・栄養・代謝系ユニット、臨床腫瘍学ユニット、疼痛医学ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2、スチューデントドクターズデイ、医師になる道6 臨床技能実践
領域II 臨床家としての医師	Iia	患者・医師間の意見を理解し、良好な関係を築くことができる。	(教養科目)多職種連携教育:基礎、医学情報学、医師になる道1-2 患者中心の医療とプロフェッショナルナリズム、医師になる道2-2 「行動科学とEBMの基礎」、医師になる道3-3 コミュニティ・ヘルスケア(CHC)応用	呼吸器系ユニット、臨床診断推論、精神系ユニット、医師になる道4-1 コミュニティ・ヘルスケア(CHC)応用、血液・造血系/リンパ系ユニット、基本臨床技能演習、クリニカルエッセンシャルズ、漢方医学ユニット、眼・視覚系ユニット、放射線等を用いる診断と治療ユニット、臨床腫瘍学ユニット、疼痛医学ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2、スチューデントドクターズデイ、法医学診断学ユニット、医師になる道6 臨床技能実践
	Iib	医療面接や体系的な身体診察によって臨床所見や病態を採り、それらを解釈し、適切な検査や治療法を選択することができる。	医師になる道3-3 コミュニティ・ヘルスケア(CHC)応用	循環器系ユニット、産科科学・集中治療医学ユニット、救急科ユニット、腎臓内科、臨床診断推論、耳鼻咽喉科・口腔ユニット、神経系ユニット(神経内科学)、皮膚系ユニット、基本臨床技能演習、臨床処方学セミナー、運動器系/リハビリテーションユニット、漢方医学ユニット、眼・視覚系ユニット、放射線等を用いる診断と治療ユニット、臨床腫瘍学ユニット、疼痛医学ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2、スチューデントドクターズデイ、医師になる道6 臨床技能実践
	Iic	基本的な臨床手技を行うことができる。	(教養科目)多職種連携教育:基礎	循環器系ユニット、臨床診断推論、精神系ユニット、神経系ユニット(神経内科学)、皮膚系ユニット、基本臨床技能演習、臨床処方学セミナー、クリニカルエッセンシャルズ、運動器系/リハビリテーションユニット、放射線等を用いる診断と治療ユニット、臨床腫瘍学ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2、スチューデントドクターズデイ
	Iid	医療情報の収集、管理を適切に行うことができる。	(教養科目)多職種連携教育:基礎、医学情報学、医師になる道1-2 患者中心の医療とプロフェッショナルナリズム、学術論文入門ユニット、病態病理・臨床病理学ユニット、Scientific Writing and Presentation、医師になる道3-2 チーム医療と医療安全、医師になる道3-3 コミュニティ・ヘルスケア(CHC)応用	循環器系ユニット、臨床診断推論、社会医学基礎(公衆衛生学コース)、放射線等を用いる診断と治療ユニット、臨床処方学セミナー/クリニカルエッセンシャルズ、臨床腫瘍学ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2、社会医学応用(公衆衛生学)、法医学診断学ユニット
	Iie	医療における安全性を理解し、適切な危機管理ができる。	(教養科目)多職種連携教育:基礎、医師になる道1-2 患者中心の医療とプロフェッショナルナリズム、病態病理・臨床病理学ユニット、医師になる道3-2 チーム医療と医療安全	クリニカルエッセンシャルズ、臨床処方学セミナー、放射線等を用いる診断と治療ユニット、輸血と移植ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2
領域III 社会における医師	IIIa	様々な生活環境や国および世界の健康、医療の動向を把握し、対応できる。	医師になる道1-2 患者中心の医療とプロフェッショナルナリズム、医師になる道3-3 コミュニティ・ヘルスケア(CHC)応用	精神系ユニット、社会医学基礎(衛生学)、社会医学基礎(公衆衛生学コース)、社会医学実習、医師になる道4-1 コミュニティ・ヘルスケア(CHC)応用、血液・造血系/リンパ系ユニット、内分泌・栄養・代謝系ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2、スチューデントドクターズデイ、医師になる道6 臨床技能実践
	IIIb	個人および集団の健康を規定する因子を考察し、健康増進、疾病予防の立案を策定できる。	(教養科目)多職種連携教育:基礎、医師になる道1-2 患者中心の医療とプロフェッショナルナリズム、	精神系ユニット、社会医学基礎(衛生学)、社会医学基礎(公衆衛生学コース)、社会医学実習、クリニカルエッセンシャルズ、運動器系/リハビリテーションユニット、漢方医学ユニット、内分泌・栄養・代謝系ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2、社会医学応用(公衆衛生学)
	IIIc	保健、医療、福祉に関する法や制度を社会的動向の中で理解し、活用することができる。	医学情報学、医師になる道1-2 患者中心の医療とプロフェッショナルナリズム、法医学ユニット	精神系ユニット、社会医学基礎(衛生学)、社会医学基礎(公衆衛生学コース)、社会医学実習、クリニカルエッセンシャルズ、運動器系/リハビリテーションユニット、輸血と移植ユニット、疼痛医学ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2、法医学診断学ユニット
	IIId	多職種連携による地域包括ケアシステムの構築に貢献できる。	(教養科目)多職種連携教育:基礎、医学情報学、医師になる道1-2 患者中心の医療とプロフェッショナルナリズム、	精神系ユニット、社会医学基礎(公衆衛生学コース)、社会医学実習、医師になる道4-1 コミュニティ・ヘルスケア(CHC)応用、クリニカルエッセンシャルズ	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2、スチューデントドクターズデイ
領域IV プロフェッショナルとしての医師	IVa	プロフェッショナルとして人間性と倫理性に富み、かつ冷静な行動をとることができる。	(教養科目)多職種連携教育:基礎、医学情報学、医師になる道1-2 患者中心の医療とプロフェッショナルナリズム、肉眼解剖学ユニット/組織学・発生学・神経解剖学ユニット、病態病理・臨床病理学ユニット、法医学ユニット、医師になる道3-2 チーム医療と医療安全、医師になる道3-3 コミュニティ・ヘルスケア(CHC)応用、遺伝医学と倫理	リサーチクラークシップ(基礎自主研修)、救急科ユニット、精神系ユニット、医師になる道4-1 コミュニティ・ヘルスケア(CHC)応用、クリニカルエッセンシャルズ、漢方医学ユニット、血液・造血系/リンパ系ユニット、輸血と移植ユニット、臨床腫瘍学ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2、スチューデントドクターズデイ、医師になる道6 臨床技能実践
	IVb	多職種と協同して行動し、必要な時にリーダーシップを発揮することができる。	(教養科目)多職種連携教育:基礎、医師になる道1-2 患者中心の医療とプロフェッショナルナリズム、肉眼解剖学ユニット/組織学・発生学・神経解剖学ユニット、病態病理・臨床病理学ユニット、医師になる道3-1 統合科目1、病態病理・臨床病理学ユニット、医師になる道3-2 チーム医療と医療安全	リサーチクラークシップ(基礎自主研修)、救急科ユニット、精神系ユニット、医師になる道4-1 コミュニティ・ヘルスケア(CHC)応用、運動器系/リハビリテーションユニット、臨床腫瘍学ユニット、疼痛医学ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2、スチューデントドクターズデイ、医師になる道6 臨床技能実践
	IVc	自分の身体的・精神的状況を把握し、ストレスに適切に反応し、必要時には手立てを支援もとめることができる。	(教養科目)多職種連携教育:基礎、医師になる道1-1: 医師の職業と社会的役割、社会における医師の役割、病態病理・臨床病理学ユニット	リサーチクラークシップ(基礎自主研修)、精神系ユニット、医師になる道4-1 コミュニティ・ヘルスケア(CHC)応用、クリニカルエッセンシャルズ、臨床腫瘍学ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2、スチューデントドクターズデイ
	IVd	継続的に自身の医学知識、医療技術の向上に努めることができる。	(教養科目)多職種連携教育:基礎、医学情報学、医師になる道1-1: 医師の職業と社会的役割、医師になる道1-2 患者中心の医療とプロフェッショナルナリズム、肉眼解剖学ユニット/組織学・発生学・神経解剖学ユニット、学術論文入門ユニット、病態病理・臨床病理学ユニット、Scientific Writing and Presentation、医師になる道3-2 チーム医療と医療安全、先端医学ユニット、遺伝医学と倫理	リサーチクラークシップ(基礎自主研修)、成長と発達/発生、精神系ユニット、神経系ユニット(神経内科学)、皮膚系ユニット、運動器系/リハビリテーションユニット、クリニカルエッセンシャルズ、眼・視覚系ユニット、放射線等を用いる診断と治療ユニット、輸血と移植ユニット、臨床腫瘍学ユニット、疼痛医学ユニット	クリニカルクラークシップ1、クリニカルクラークシップ2、スチューデントドクターズデイ、社会医学応用(公衆衛生学)、医師になる道6 臨床技能実践